

# 聖人御難事

御書新版 1620巻4行目〜7行目  
御書全集 1190巻10行目〜12行目

たとい大鬼神のつける人なりとも、

日蓮をば梵釈・日月・四天等、天

照太神・八幡の守護し給うゆえに、

ばつしがたかるべしと存じ給うべし。

月々日々につより給え。すこしも

たゆむ心あらば、魔たよりをうべし。

## 通解

たとえ大鬼神がついた人であつても、日蓮を梵天・帝釈・日天・月天・四天王また天照太神・八幡大菩薩が守護されているゆえに、罰することができないと、確信していきなさい。月々日々、信心を強めていきなさい。少しでもたゆむ心があれば、魔がそのすきに付けこんでくるであろう。

## 語句

大鬼神

善鬼と悪鬼の両方の意味があるが、ここでは悪鬼の意。「大鬼神のつける人」とは、強大な力を使って、正法を受持する人や民衆を迫害、抑圧する人。

梵釈・日月・四天等

法華經守護の諸天善神のこと。梵釈とは大梵天王と帝釈天王。日月とは日天子と月天子。四天とは持国天、增長天、広目天、毘沙門天で、帝釈天王に従う仏法守護の天王。